

熊本県看護連盟

ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 39

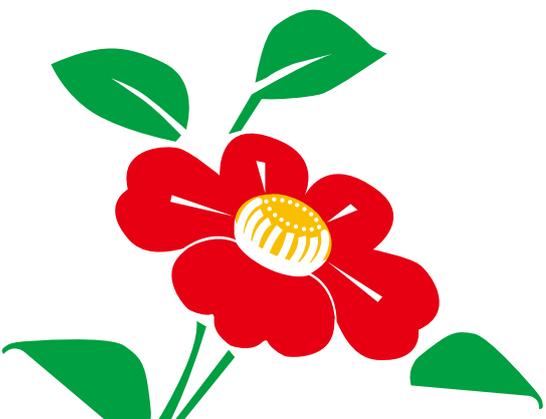
2021.1.20発行



CONTENTS

会長あいさつ(矢野メリ子・大島敏子)	2P
国会議員たより(あべ俊子・たかがい恵美子・石田まさひろ)	3P
国会議員たより(木村やよい)・県協会長あいさつ(本尚美)	4P
若手会員・新入会員研修報告・九州ブロック・全国青年部Zoom会議報告…	5P
日本看護連盟通常総会報告・令和2年7月豪雨の見舞金・支援金支給について…	6P
熊本県看護協会・看護連盟合同研修会報告・たかがい恵美子議員との意見交換会報告…	7P
第7回県議会議員と看護職との交流会	8P
九州ブロック看護管理者等政策セミナーに参加して	9P
コロナ禍での看護学生実習受け入れおよび新入看護職等研修の状況 …	10P
令和3年度熊本県予算要望書について	11P
入会会員数・「ひごつばき」に関する感想・編集後記	12P

熊本県看護連盟会員数：7,262名(2020年度)



熊本県看護連盟会長あいさつ



熊本県看護連盟
会長

矢野 メリ子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様、あけましておめでとうございます、昨年は大変お世話様になりました。今年も連盟活動にご支援・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和2年は新年早々新型コロナウイルス感染症が発生し、世界中で猛威を振っています。未だ収束の見通しは立たず熊本でも感染拡大傾向にあります。

このような中、医療介護現場の最前線でご活躍の皆様には、長期にわたり感染防止に取り組み、不安と緊張の中、日夜業務に取り組まれていることに改めて感謝と敬意を申し上げます。

感染対策の為のマスク、手指消毒液等の不足により医療現場では一時混乱を招く事態となりました。看護協会と看護連盟では熊本県知事・熊本市長・自民党県連等へ新型コロナ感染症対策等に対する要望書の提出も致しました。

また、熊本では7月豪雨災害が発生し、県南をはじめ多くの地区で甚大な被害が出ました。その対応に当たった多くの看護職の皆様のおかげで被災地の健康・生活が守られており改めて看護職が県民の健康と福祉の向上に寄与している団体であることを感じております。

さて、一昨年の参議院選挙が、遠い日のような気がいたします。看護連盟は政治活動、選挙活動をする団体です。コロナ禍にあっても地道に活動を続け、看護連盟の目的を達成するために努力してまいります。

このような状況の中で看護の代表の議員の先生方の来熊は多くが叶いませんでしたが、昨年11月に開催しました看護協会と看護連盟の合同研修会に、たかがい恵美子参議院議員をお招きし開催できたことは、国会議員の活動を知る良い機会となりました。

コロナウイルス感染症の収束が見えない中ではありますが、今年も会員の皆様のお力を頂きながら活動をしてまいります。

最後になりましたが、新たな年が希望に満ちた輝かしい年となりますようお祈りいたします。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟
会長

大島 敏子

新年あけましておめでとうございます。

昨年はCOVID-19の感染に終始した1年でした。臨床の皆様にとって、病態が分からず治療法も治療薬もないまま看護することが、どんなに大変で、心揺れ動きながらの日々であったかと思うと、心からの敬意と感謝を送ります。看護職全体がそれぞれの立場で、最善を尽くしてきた1年でありました。それ故、世間では、医療関係者への感謝を「Light it Blue」や「Friday Ovation」そして、路面電車やバスに感謝の言葉をラッピングし走りました。これは、全ての看護職の実践の成果です。本当にありがとうございました。戦いは終わったわけではありませんが、もう一息です。国民と共に頑張りましょう。

連盟の昨年の課題は、令和の地域包括ケアシステムに合わせたスローガンの変更とPR動画やポスターの作成、広報ツールの見直しとブロックセミナーを協会長参加で開催すること、そして戦略会議を各県ごとからブロック開催することでした。以上は確実に実現できましたが、第26回参議院選挙の候補予定者の推薦については、委員会規約を見直し、今年の総会でご承認いただく予定です。

丑年の今年、どっしりと大地に足をつけて、協会が連盟をつくってきた60年前に想いを馳せ、公益法人が政治団体を新たにづくらなければならなかったそのことの意味から、日本看護連盟の存在価値を考えることが大切です。「看護は一つ」の合言葉が生まれたのは何故か？これを証明する看護連盟の歩みはどうあるべきか？還暦と言う年月を重ねてきた時だからこそ、皆で考えていきましょう。

その為には、まず、看護協会の重点方策について、都道府県選出の国会議員に連盟会員が話に行き、確実に理解をもらい、私たちが国会に送り出した4人の国会議員と連携し、議案に賛成してもらう地道な努力が必要です。

このように、連盟活動を原点回帰の1年にしたいと考えます。本年も宜しくお願い致します。

国会議員たより



衆議院議員
あべ 俊子

- ◎自由民主党
 - ・国会対策副委員長
 - (厚生労働担当、復興担当)
- ◎衆議院
 - ・外務委員長

新年明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶させていただきます。

熊本県看護連盟の皆様には、昨年より、新型コロナウイルスとの闘いの最前線に立ち、日本国民のいのち・暮らしをお守りいただいていることに、心より感謝申し上げます。

新型コロナの拡大当初より、医療、研究、様々な分野の総力を結集してこのウイルスと戦って参りました。まだまだ未知の部分が多い中、感染しても重症化を回避できつつあるのは、皆さまの日頃の看護のおかげでございます。ご自身の感染リスクがある中、患者最優先で業務されている日々の積み重ねにより、医療崩壊を起こすことなく、新しい年を迎えることができました。

昨年は、こうした皆さまのご尽力に対し、十分でないながらも、慰労金や助成金の形で、ご支援させていただきたく、関係各所との協議に奔走した一年でございました。ウイルスとの闘いが長期戦になる中、必要となる支援も変わってくるのが想定されます。

今年は『新しい日常』の中、社会、医療、経済復興の模索が続きます。いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場からの声でございます。臨床、教育、行政の現場よりご意見いただき、Withコロナ時代を皆さまと進んで参りたいと存じます。



参議院議員
たかがい 恵美子

- ◎自由民主党
 - ・政務調査会副会長
 - ・新型コロナウイルス感染症対策本部副本部長
 - ・行政改革推進本部役員
- ◎参議院
 - ・ASEAN議員交流推進議員連盟事務局長

謹んで初春のお慶びを申し上げます。熊本県看護連盟の皆様には日頃より大変お世話になっております。看護職の皆様並びにご家族の皆様におかれては、昨年来の感染症有事への対応等、公私ともに大変なご負担をおかけしております。厳しい自制と自粛を続けながら、いのちの最前線で国民の生命と暮らしをお守りいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。昨秋より政務調査会副会長として、主に厚生労働及び文教科学スポーツ分野の政策を担当するとともに、新型コロナウイルス感染症対策本部副本部長として現下の感染症有事対策とガバナンス態勢の構築に携わり、また行政改革推進本部役員として菅政権が進める規制緩和とデジタル化推進に関する与党の政策提言とりまとめに関わらせていただいております。人々に幸せを運ぶ看護職の笑顔を守り、一人ひとりが存分に役割を發揮できる環境を実現すべく、本年も鋭意努力して参ります。皆様にとって、いのち輝く健やかな年でありますようご祈念申し上げます。



参議院議員
石田まさひろ

- ◎自由民主党
 - ・参議院自民党国会対策委員会副委員長
- ◎参議院
 - ・厚生労働委員会筆頭理事

熊本県看護連盟のみなさま、あけましておめでとうございます。2021年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの蔓延により、私達看護職は医療介護の現場ではウイルスと、そして家庭をはじめプライベートな場所でも日々不安と戦ってきました。現場から多くの声をいただき、課題を解決すべく活動を続けた1年でもありました。その中で看護職においては慰労金が支給されるなど、以前よりも看護職自身、そして専門性にも注目が集まるようになりました。病院の経営不振などから処遇が悪化している方もいますが、看護職全体の処遇改善にさらに力をいれていきます。

昨年9月に、参議院において昨年に引き続き3度目となる厚生労働委員会筆頭理事を拝命致しました。運営が最も難しい委員会の一つとされる厚生労働委員会の運営に携われることはありがたいことです。議論を今年もしっかりと進めていけるよう、最大限の努力を続けます。合わせて、2年ぶりに参議院自民党国会対策委員会の副委員長を拝命しました。議会運営の担い手として気を引き締めて責務を全うしていきます。

私の政治信念は「現場」とともにあります。皆さんからの現場の声が私の原動力です。看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力してまいります。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

国会議員たより



衆議院議員
木村やよい
・自由民主党副幹事長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

コロナの中で大変な思いをして頑張っておられる全ての看護職の仲間たちに、心からのエールをお伝え申し上げます。

慰労金はお手元に届いていますか。何か不都合なことがありましたら、お知らせください。看護職の代表として皆さまの安心をお守りいたします。

私は、昨年9月に自民党副幹事長を拝命しました。菅総裁・二階幹事長をお支えしてまいります。

第203回臨時国会は、1カ月余りの短期間でしたが、厚生労働委員会では予防接種法改正などが成立。私も、厚生労働委員会と消費者問題に関する特別委員会、総務委員会では郵便法改正案の賛成討論などをいたしました。

第2次補正予算では、慰労金として看護職への直接手当が実現しました。これは看護界史上なかったことです。これを特例にせず、超少子高齢社会の医療提供体制のキーパーソンである看護職のモチベーションの維持のためにも、看護の専門性が正しく評価されるよう、引き続き発信してまいります。これからも、看護職が疲弊せず生き生きと働き続けられる環境づくりに、看護連盟の皆さまとともに、現場の声を丁寧にうかがいながら、力を尽くしてまいります。

コロナを経て、経済一辺倒ではない、内面の時代になりました。看護師・保健師出身の国会議員として、皆さまの健康を守りぬけるようがんばります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本県看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会
会長
本 尚美

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症への対応の中で迎えた新年となりました。

令和2年を振り返りますと、各地で災害による大きな被害が発生し、7月県南部の豪雨災害では、コロナ禍の中、災害支援ナース（レベル1）の派遣を行いました。改めて被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、派遣の支援をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。災害支援ナース派遣の仕組みについては、11月25日に熊本県看護連盟主催で開催された県議会議員の方と看護職の交流会において報告の機会をいただき、今後の活動へのご支援をお願いしました。

また、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、国内でも急激な勢いで感染拡大が続き、終息の目途が立っておりません。業務増大や不安の中、使命感を持って最前線で予防や診療に従事し、地域医療を支えていただいている皆様に心から感謝の意と敬意を表します。県看護協会の対応としては、行政への要望書提出、看護管理者へのアンケート調査、潜在看護師の就業紹介、感染対策研修会の開催や他団体への講師紹介等を行っています。

県看護協会の事業は、コロナ禍でまちの保健室や看護の日記念事業等やむなく中止をした事業もありましたが、8月以降は感染防止対策を徹底しながら進めております。会議や研修会の開催方法にWEBを導入し、新しい様式での体制づくりも始めています。

日本看護協会は、2025年さらには2040年を見据えて、令和3年度の重点政策として ①看護基礎教育制度改革の推進 ②健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築 ③看護職の働き方改革の推進 ④看護職の役割拡大の推進と人材育成 ⑤看護職の資格活用基盤の強化 ⑥地域における健康危機管理体制の強化 を策定しました。重点事業として取り組むものには『看護師基礎教育の4年制化』や『看護職の資格活用基盤の強化』『ナースプラクティショナー（仮称）制度の構築』等法整備が必要な事業もあり、実現のためには、看護職の団体として会員増を図り、組織力を強化していく必要があります。コロナ禍で看護職に求められる役割が大きくなる一方、働く環境は大変厳しい状況にあります。今年も看護協会は看護連盟と情報を共有し連携して、看護政策の実現に向けて取り組んでまいります。

今年も会員の皆様方には、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

若手会員・新入会員 研修会

開催日

2020年9月29日（木）14:00～16:30（参加者41名）
2020年10月9日（金）14:00～16:30（参加者64名）

場所

熊本県立劇場 大会議室

講師 熊本県看護連盟 県南1支部支部長 青年部アドバイザー 田中 裕貴氏

講演内容 「Nurseの知らない世界」 ①看護と政治の繋がりについて ②看護連盟と看護協会の相関関係について
③看護の代表を高い投票数で国会に送る必要性について

熊本4支部 青年部 甲斐 拓也



新型コロナウイルス感染拡大が続いている中、各施設から多くの若手・新入会員のみなさまに参加していただき、感染予防対策を取り開催することができました。「Nurseの知らない世界」と題して田中氏に講演をしていただきました。看護連盟会員としての自分達の役割、どんな活動をしているのか、政治活動の大切さ、

代表議員が何をしたのか等、具体的な説明をされました。給料のことや職場環境といった、自分達の身近なことに参加者の関心が高まったようです。看護連盟にしっかり興味を持ってもらえたのではないかと思います。これからも、若手看護師が看護連盟を盛り上げていけるように活動していきたいと思います。

アンケート結果

<新型コロナウイルス感染対策>

- ・ 集合研修開催にあたって、約3割の参加者は何かしらの不安を持って研修に参加している。
- ・ 感染に対して予防策を講じたが、9割強の参加者は対策は十分であったと回答している。

<研修内容について>

- ・ 研修会の参加者は20～30歳代が9割を占めているが、参加者全員から「理解できた」「よく理解できた」と回答している。
- ・ 5～7割の参加者が、看護連盟の会員としての役割、看護師の代表を国会議員にする重要性、看護連盟の活動が仕事の現場に影響があることなどを自施設でフィードバックしたいと回答している。



九州ブロック・全国青年部Zoom会議に参加して 熊本県青年部委員長 段下 健

今回コロナウイルス蔓延の影響を受けて、青年部九州ブロック会議が9月25日と11月20日に、全国青年部会議が10月17日にZoomで開催されました。例年であれば担当の都道府県の会場に集まり開催されますが、今回誰も経験したことのない状況での開催でした。しかし、このような時期だからこそ自分達で見つけていかなければいけません。今回各都道府県の青年部と情報交換を行い、さまざまなことを学ぶことができたとともに、熊本県青年部として今できることを精一杯頑張ることで、看護の未来のためになると思います。熊本県看護連盟青年部として、一人でも多く看護連盟について知っていただけるよう頑張っていきたいと思います。

2020年度日本看護連盟通常総会

開催日 2020年11月30日(月) 12:00~16:00

場所 東京プリンスホテルズ **LIVE** (Zoom) ホテル熊本テルサ 3階 たい樹

プログラム

1. 2020年度名誉会員
2. 2019年度 通常総会、会議等報告
3. 2019年度委員会報告
4. 「2019年度日本看護連盟事業計画」の
実施報告
5. 2019年度決算報告
6. 2019年度監査報告
7. 2020年度スローガン
8. 2020年度事業計画
9. 2020年度予算
10. 選挙対策
11. 新任役員紹介

県南4支部 支部長 JCHO人吉医療センター 藤村 友子



2020年11月30日東京プリンスホテルにおいて、2020年度日本看護連盟通常総会が開催された。新型コロナウイルス感染拡大を考慮し今年度は総会会場(東京) 各県の会場をオンラインでつなぎ熊本県からは会長他代議員20名一般出席4名がリモートで参加した。

開会后、物故者への黙祷、日本看護連盟大島敏子会長の挨拶、来賓祝辞、福井トシ子日本看護協会会長から挨拶があった。あべ俊子議員、木村やよい議員は会場での挨拶、続いてたかがい恵美子議員、石田まさひろ議員のビデオメッセージでの挨拶があった。

その後2名の議長団が選出の後、議事が進行され2020年度名誉会員、2019年度の会議、委員会報告、決算・監査報告が行われた。2020年度スローガンを含めた事業計画等についてはすでに代議員委任により会長会で決議されており報告が行われた。

2020年度のスローガンは「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」事業計画の重点方針は みえる活動、行動する会員、確かな組織づくり である。

看護の基礎・継続教育の充実、就労環境の改善など多くの課題の解決のためには一人一人の看護職が連盟活動を理解し行動する必要がある。新型コロナ感染の拡大により連盟の活動も変化を求められている。時間や人数を考慮した活動やリモート研修、各種媒体を使用した情報提供などコロナ禍における活動を地道に続けていきたい。

令和2年7月豪雨の見舞金・支援金支給について

被災を受けられた会員32名の方に令和2年12月22日に現金書留にてお送りしました。

支給元	被害状況	全壊 (11件)	大規模半壊 (3件)	半壊 (17件)	床上浸水 (1件)	合計 (32件)
日本看護連盟見舞金		220,000	30,000	170,000	10,000	430,000
県看護連盟見舞金		220,000	60,000	170,000	10,000	460,000
支援金		440,000	120,000	340,000	20,000	920,000
合計		880,000	210,000	680,000	40,000	1,810,000

県内外の多くの看護連盟会員の方々からも支援金としてご寄付いただきました。感謝申し上げます。

●受取られた方々のお礼の言葉を一部紹介します。

- 7月4日の豪災害に対しお見舞金を頂きありがとうございました。少しずつではありますが復興に向かっていく現状です。どうか皆様もご身体を大事になさってください。
- このたびは令和2年7月豪雨の被害に際し、早々のお見舞いを賜りその上お見舞金まで頂戴いたしまして心より感謝申し上げます。半壊の被害を受けましたが少しずつ復旧作業が進んでおります。はなはだ簡単ではございますが取り急ぎお礼と報告を申し上げます。
- この度は、多額のお見舞金・支援金を頂きありがとうございました。大切に使用させていただきます。
- 今回は、特別な配慮を頂きありがとうございました。周りは違う市町村へ引っ越したり仮設住宅に移動したりしていますが、我が家は何とか自宅で過ごすことが出来ております。大切に使用させて頂きます。

令和2年度 熊本県看護協会 看護連盟合同研修会 に参加して

開催日 2020年11月28日(土) 12:30~15:40 **場所** ホテル熊本テルサ テルサホール

講師 熊本県健康福祉部健康局医療政策課審議員兼課長補佐 岡 順子氏
参議院議員 自民党政務調査会副会長 たかがい 恵美子氏

熊本1支部 小牧 菅子



感染対策の中、11月の土曜日ということもあり多くの看護職が参加された。

岡 順子先生からは「熊本県の看護の現状について豪雨災害、新型コロナウイルス感染症対策」の2つの視点から報告があった。令和2年7月豪雨災害については災害支援ナースや医療機関の支援活動の状況などを詳しく県政の立場から報告されていた。頻繁に起こる豪雨や地震、台風など災害が多発してきている今、災害支援ナースや地域の保健師などの活躍が求められている。特に新型コロナウイルス感染という複合災害が今後増加してくることも予測され、さらなる看護職の活躍が期待される。一方で新型コロナウイルス感染拡大により看護学生の臨床実習受け入れが困難となり基礎教育の質確保と入職後のリアリティショックを軽減させる対策が必要であると講演された。2025年さらには2040年問題が身近に迫ってきている中、看護職の人材確保、定着と離職防止が大きな課題となっており官民連携して課題解決していかなければならないと思った。

たかがい恵美子議員の国政報告では「コロナ禍、新しい時代の看護政策」について報告された。新型コロナウイルス感染症対策の政策に関わり、慰労金や支援金、医療関係職種への修学や卒後臨床での研修支援策など、いのちの最前線に立つ看護職のために日々活動されていて身近に感じることができた。これからも現場の声を国政に届けてもらいたいと思った。

2020年度 第2回「たかがい議員との意見交換会」報告

テーマ コロナ禍の活動 国会での活動を聴こう 現場の声を伝えよう

開催日 2020年11月28日(土)15:50~17:00 **場所** ホテル熊本テルサ 3階 たい樹



役員・支部長等21名の参加にて意見交換会が開催された。まず、参加者が其々今の問題点や、要望を議員に伝える形式で行われた。その後、議員の意見やアドバイスを受けた。

訪問看護ステーションのコロナ禍での問題点として防護具の不足、法人病院ではマスク・ガウン等の支給減少、更に価格の高騰などで節約している現状。看護学校に於いては、コロナ禍の中での実習問題、特に、助産師課程、学生の経済的困窮等の意見がでた。看護職の給与の問題、高齢者施設での人材不足、うつ傾向の職員

の対応問題など現場の様々な声が挙げられた。

たかがい議員は、予防接種法の改正、学生に対する支援対策、雇用安定のための補助事業、一人親世帯・低所得者世帯への税制控除や手当等について予算確保を検討している。

第三次補正予算が近く決まります、補助金等詳しい人の知恵を借り、看護連盟としても活用するための働きをしてほしい等述べられた。

最後に、現在、自民党政務調査会副会長の職にあり、「現場の声」を皆様の力になれる政策に繋げていくよう頑張ります。との力強い言葉を頂き、意見交換会は終了した。



第7回 県議会議員と看護職との交流会

開催日 2020年11月25日(水) 12:00~13:30

場所 ホテル熊本テルサ テルサホール

報告：災害支援ナース派遣の仕組み 報告者：本 尚美氏
交流会

県南2支部 八代敬仁病院 藤本 覚

令和2年11月25日「第7回県議会議員との交流会」がホテル熊本テルサで、自民党県議36名、県看護協会役員2名、県看護連盟役員・支部長等33名が参加し、感染予防対策を講じて開催された。

矢野連盟会長より、議員へのお礼とコロナ禍でこの会を行う意義が述べられた。前川県連会長、藤川県議団長からは7月豪雨災害支援ナース派遣の感謝、コロナ禍での医療保険制度の重要性、日本の高い医療・看護の質の維持には看護師への手厚い支援が必要だと話された。

看護協会長からは災害支援ナース派遣の仕組みと7月豪雨災害時の活動報告がなされ、災害時における行政との連携及び迅速に対応できる体制強化について今一度考える機会となった。



交流会では議員から豪雨災害時の状況報告があり、災害3日後には視察のため徒歩で現地入り、移動も容易ではなくテレビや写真では伝えられない惨状であったことや、被災地復興については「住み慣れた地域へ戻る」取り組みを検討していることなどであった。やるべき事を明確にする為に自分の目・肌で感じる事の重要性和災害支援ナースへの理解を深める必要を感じた。議員へは院内でのコロナ対策の現状説明と「訪問看護や診療所、看護学生への防護具充足への支援」等要望した。

限られた時間の中それぞれの立場から思い・悩みなど直接伝えられた事は、今後良い方向への更なる一歩と確信した貴重な時間となった。



意見交換の主な内容 〈議員の方々には意見をよく聞いてもらえ活発に話げできた〉-----

新型コロナウイルス

- ・新型コロナウイルス対応や病院の近況について話した
- ・面会禁止による家族への対応(情報提供や面会出来ないことへのストレス)
- ・医療職が大変な立場に立っているが、他の職種(飲食業など)でも厳しい現状である

災害対策

- ・熊本地震や豪雨など今までの経験が今回も活かされていた
- ・避難所の隔離パーテーションが低い 感染対策上もっと高くしてもらいたい
- ・災害支援ナースをもっと増やして育成していく必要がある
- ・コロナ禍での災害であり、県外からの支援を受けることが出来なかった
- ・学生ボランティア活動が力になった
- ・災害支援ナースの活動について理解が得られてよかった

地域が抱える問題

- ・天草地域においては新卒者の多くが島外に出ている
- ・福岡県では離島手当がある 熊本県では教員には手当がある状況
- ・阿蘇地域に産婦人科がなくなったことでダメージがある
- ・へき地医療・人材不足(医師・助産師・看護職)
- ・遠隔地救急医療ではヘリコプターが活躍しているが夜間が課題であること
- ・精神科病院の退院先の確保が困難であるため制度を充実してほしい

人材確保

- ・夜勤について看護職の負担が大きくなっている 他の職種の介入が必要
- ・夜勤を行う人員不足
- ・新年度入職する新人看護師の教育体制について
- ・ナースの人員確保困難であるが地域差(給料)の是正をしていくことが県内にナースを引き留めることに繋がる

2020年度 九州ブロック看護管理者等政策セミナーに参加して

開催日 2020年11月15日(日)・16日(月)

会場 沖縄県那覇市 ロワジュールホテル那覇

熊本赤十字病院 西村 佳奈美

上記のセミナーに矢野会長・嶋田副会長はじめ5名で参加させていただきました。参加者は九州8県から43名で、内容は①「看護業務へのICT、AI導入の可能性」鹿児島大学・宇都由美子先生②「コロナ禍と医療政策」国際医療福祉大学・島崎健司先生③「日本看護協会の重点政策について～ 2020年度重点政策・重点事業」日本看護協会・鎌田久美子先生④「国政報告」たかがい恵美子先生⑤「日本看護連盟における看護政策の取り組み」日本看護連盟会長・大島敏子先生⑥熊本県・佐賀県の活動報告でした。

講義を受け、看護協会・看護連盟の活動と共に看護管理者として今後どのように対応していくことが大切か改めて感じました。「連盟会員増に向けた看護協会と看護連盟の連携・協働について」のグループワークでは多種多様な意見がでました。エッセンシャルワーカー（日常生活における、必要不可欠な仕事を担う労働者）である私達が今後も働き続けるために、より多くの看護職に看護協会・看護連盟に入会して活動していただきたいと痛感しました。最後になりましたが、アトラクションの琉舞をはじめ沖縄県看護連盟の皆さんのおもてなしに感謝いたします。



JCHO人吉医療センター 看護部長 渡辺 朋子

出発前からコロナ禍において大丈夫なのかと不安を抱えながら那覇空港におりたちましたが、沖縄県看護連盟の方々には並々ならぬ努力をされ十分な感染対策を実施されていました。

セミナーでは、鹿児島大学病院医療情報部の宇都先生の「看護業務へのICT、AI導入の課題」を聞きながら歯切れのよい話し方、看護必要度に対する考えなどを講演され、看護界もどんどんIT活用を進めていかなければならないとひしひしと感じました。また、大島敏子会長の講演は輪をかけてパワフルになられ大島ワールドに引き込まれていきました。看護連盟の必要性がとてわかりやすく、看護職員すべての人に聞いてほしい内容でした。

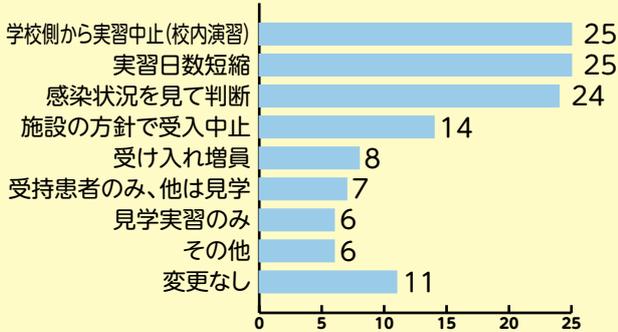
熊本県看護連盟から嶋田副会長が看護協会と看護連盟の連携について講演されました。色々な意味で連携を図る必要性を参加された看護管理者は感じているようで、グループワークでも他看護連盟の方が連携方法や研修内容に興味を持たれていました。私は、管理者として看護連盟の役割をあまり理解できていないことを痛感しました。もっとわかりやすい言葉で看護連盟の活動を広報していこうと感じた研修でした。最後に2020年7月豪雨災害に際し矢野会長を始め、看護連盟の支援に厚くお礼申し上げます。また、この機会をいただけたことに感謝申し上げます。



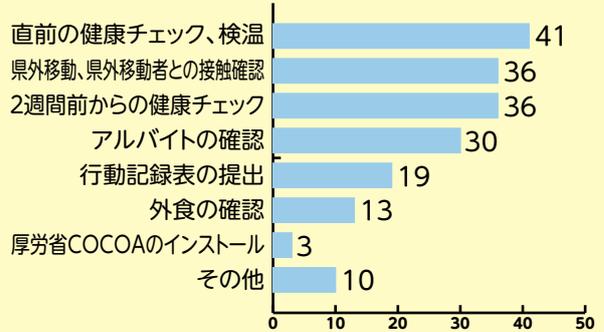
コロナ禍での看護学生実習受け入れおよび新入職看護職等研修の状況

対象：熊本県看護連盟会員加入施設看護管理者
 調査期間：令和2年10月16日～11月2日
 配布数：93施設 回答：56施設 回収率：60.2%

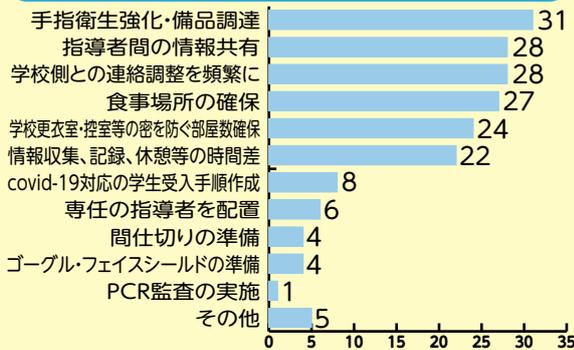
実習受入の変更(複数回答)



実習への学生・学校の対応(複数回答)



実習受入への施設の対応(複数回答)



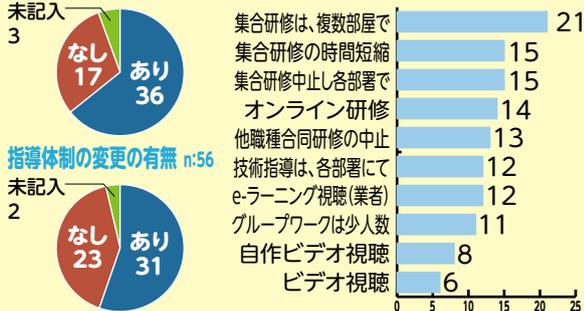
学生の臨地実習の課題(記述抜粋)

看護師育成のために臨地実習は、必要

- ・ 学生受け入れに関する基準・手順の整備
- ・ 感染対策を講じた指導者の確保
- ・ 実習生に必要な感染予防具の確保
- ・ 容易な実習前のPCR検査の実施により、受け入れ施設の対応が容易となる
- ・ 実習人数の適正数の策定

新入職員等の研修

新卒新人の採用 n:56 変更・工夫点(複数回答)



新入職員等研修の課題

- ・ 実習経験の少ない新卒は、基本的コミュニケーション技術が未熟
- ・ 学校により実習経験が異なるため、個別対応がより必要
- ・ シャドウイング期間の延長、手厚い指導者の配置
- ・ 先輩や同僚とのかかわりが希薄になるため、個々へのメンタルサポートがこれまで以上に必要
- ・ 研修場所の確保
- ・ e-ラーニング、オンライン研修等、IT活用した体制作りが必要
- ・ 少人数、個別対応の新人教育となり、人的資源が必要
- ・ 指導者の育成
- ・ 感染対策を講じた教育体制
- ・ 教育者の確保に伴う、臨床での人員不足
- ・ PCR検査体制の充実

新人看護職教育に必要な支援

- ・ 研修・教育にかかわる人員確保のための支援
- ・ オンライン研修に必要な資材・人材の確保
- ・ 感染予防対策のための防護具の着脱訓練と訓練用資材の確保
- ・ 感染対策用具：手袋・マスク・ガウン・個人防護具等の確保支援
- ・ メンタルサポート体制の支援
- ・ 潜在看護師の積極的活用促進

令和3年度要望に盛り込みました!

(自民党県連宛て)

1. 新型コロナウイルスの感染対策や災害の備えに係る予算の確保
 - ▶ 看護の質向上及び看護の機能を低下させないための予算の確保
 - ▶ 新型コロナウイルス等の感染対策に向けて関連分野での潜在看護職等の人材確保
2. 看護職員確保対策等の予算の確保
 - ▶ 施設に置ける新人研修事業費の確保
 - ▶ 訪問看護施設における新人研修事業費の確保

令和3年度熊本県予算要望書を提出しました!!

令和2年10月23日 自民党熊本県支部連合会前川収会長を訪ね、熊本県看護協会長と熊本県看護連盟会長より要望の趣旨を説明し、要望書を提出いたしました。

主な内容は、以下の通りです。

- 1.新型コロナウイルスの感染対策や災害の備えに係る予算の確保
- 2.看護職員確保対策等の予算の確保
 - 1) 看護職員の県内就業の促進と働き続けられる職場環境づくりに関する予算の確保
 - 2) ナースセンター事業費の確保
 - 3) 病院内保育所運営費の確保並びに病児保育の充実に向けての予算の確保
 - 4) 学童保育施設の増設および質向上に向けての予算の確保
- 3.看護の質向上のための予算の確保
 - 1) 看護職員の継続教育体制整備の推進にかかる費用の確保
 - 2) 専門性の高い看護職員の養成支援事業費の確保
 - 3) 介護施設で働く看護職員の人材育成のための予算の確保
- 4.訪問看護サポート強化事業
 - 1) 訪問看護管理者の支援及び携わる看護職への人材育成についての予算の確保
- 5.子どもと子育て世代を対象とした地域包括ケア推進に向けた予算の確保
- 6.地域包括ケアシステム構築に向けた看護管理者及び行政保健師の連携の推進
- 7.すべての妊産婦が、産後に必要な産後ケアを受けられる体制整備の推進









真珠の命である「てり」にこだわって30年。万全のアフターサービスとワンランク上の真珠を提供し続けてきました。
あこや真珠ネックレスはもちろん、普段身につけられるカジュアルなものまで多数取り揃えております。

お任せ下さい!

夢100%...心の栄養分

暮らしのコーディネート

熊本県看護連盟推薦

ISHIN

〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

0120-32-2020

取扱品目

- 羽毛ふとん
- ムートンカーペット
- 真珠製品

水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛

睡眠セミナー

無料サービスのご案内



睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。東洋羽毛九州販売株式会社熊本営業所
〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目7番3号 フリーコール 0120-382808



カンタ君



レンコさん

2021年度の入会を受付けています。
早期の入会の手続きをよろしくお願い致します。
熊本県看護連盟事務局より

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう!

熊本県看護連盟の
目標会員は **7,500人**です!

年会費

日本看護連盟会費 5,000円
熊本県看護連盟会費 2,500円 合計 7,500円

看護連盟会員入会状況

	H29年度	H30年度	2019年度	2020年度
看護協会(人)	15,134	15,723	15,866	15,880
看護連盟(人)	7,420	7,331	7,143	7,262
協会比率(%)	49.0%	46.6%	45.0%	45.7%

熊本県看護連盟発行「ひごつばき」vol.38に関する感想

- ・新型コロナウイルス感染症の現場の声やどのように対応していたのか知ることができた
- ・令和2年7月豪雨災害の支援内容や活動を知ることができた
- ・豪雨災害における看護連盟の活動を具体的に理解することができた
- ・看護職代表の国会議員の活動を知ることができた
- ・現場の声を国会で伝えるために日々奮闘する議員の方々の役割の重要さがわかった

編集後記

今回、「ひごつばき」に関する上記のような感想を多数頂き、たいへん励みになりました。ありがとうございました。今後も会員の皆様に関心のある活動と手に取って頂ける広報誌の制作を行って参ります。新型コロナウイルス感染症が収束するという希望を持って心身共に自らのケアも大切にしていきたいと思います。

- 広報委員 市村 栄子 貞松由紀江 守田 美紀 田尻 きみ
○担当役員 岩城まつ子 村上 元子



発行所／熊本県看護連盟

〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号
TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163
E-mail office.kumamoto@kango-renmei.gr.jp
HP <http://knf043.sakura.ne.jp/>

発行責任者
矢野メリ子